

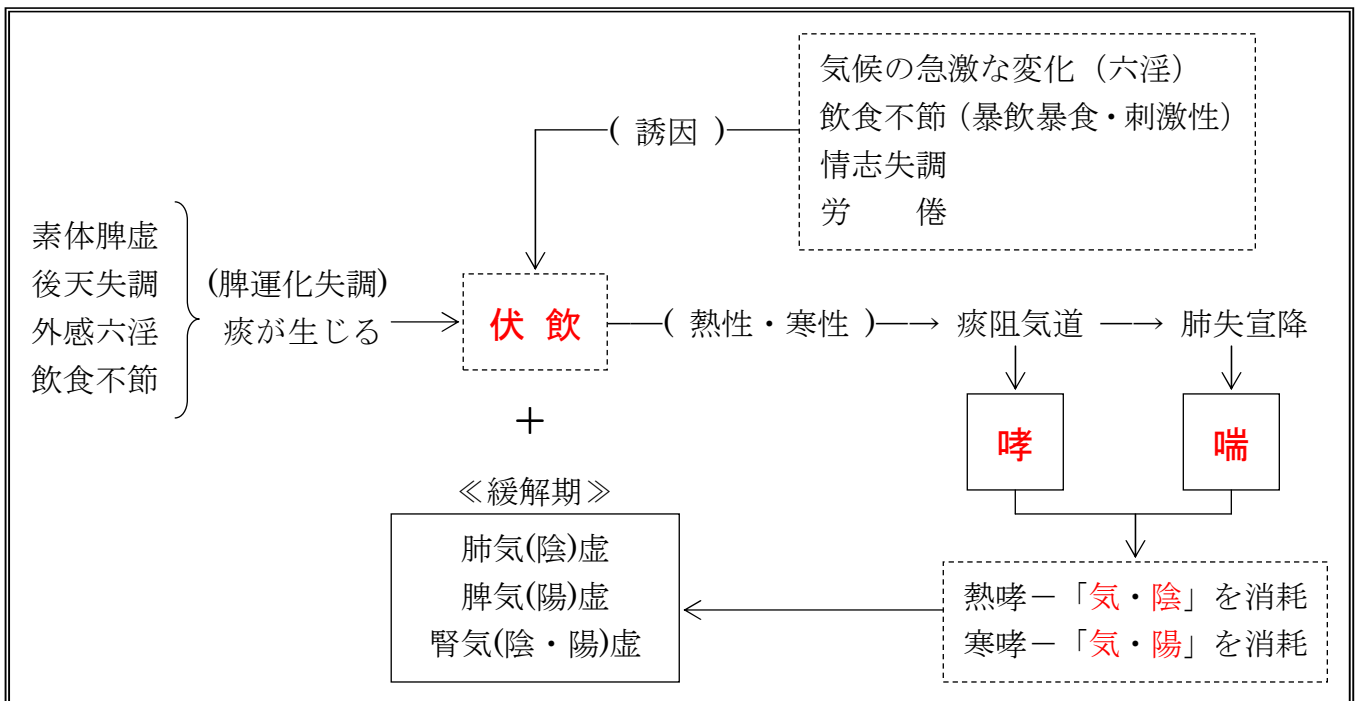
第8講 『喘息』

：東洋医学では「哮喘」と呼ばれる。

哮	発作性の喘鳴を伴う呼吸困難。	哮喘・哮喘	いわゆる喘息にあたる。一疾患。
喘	呼吸の促迫で喘鳴を伴わない。	喘証・気喘	呼吸促迫の症状を指す。

【分類】 { 実証（発作期）：風寒、痰熱
虚証（緩解期）：肺気虚、脾气虚、腎気虚

【病因病機】



【弁証の要点】

(1) 病理の性質

- ① 発作期：邪盛（実証）が主
- ② 緩解期：正虚（虚証）が主
- ③ 大発作期：正虚・邪盛がともに見られる（虚実挟雑証）

(2) 発作期の性質

- ① 寒哮：呼吸切迫、喉に低い哮声がある。吐き出す痰質は薄く白色で泡立っている。口渇は無いが温かい飲み物を好む。舌淡苔白滑、脈弦緊、浮緊。
- ② 熱哮：喉の痰音は鋸を挽いているかのようで、息が非常に粗い。痰質は黄色で濃く非常に粘っていてなかなか吐き出せない。口渇があり冷たいものを好んで飲む。舌紅苔黄膩、脈滑数。

【 症状と処方例 】

《 発作期 》

基本穴：

	経絡	意義	取穴部位
尺沢	肺経	肅肺	肘窩横紋上で上腕二頭筋腱の橈側陥凹部
孔最	肺経	止哮平喘	太淵穴の上7寸、尺沢穴の下3寸
天突	任脈	降逆順気利肺	頸窩の中央
膻中	任脈	寛胸理気 舒展気機	乳頭線を結ぶ線と前正中線の交点
豊隆	胃経	祛痰	外果の上8寸、条口穴の外方に一筋へだてた陥凹部を取る。

1. 風寒 <寒飲伏肺・寒哮>

[症状] 呼吸切迫、喉に低い哮声がある。吐き出す痰質は薄く白色で泡立っている。口渇は無いが温かい飲み物を好む。顔色は暗く青味がかっていて、寒がる。舌淡苔白滑、脈弦緊・浮緊。

[処方例]

	経絡	意義	取穴部位
基本穴	***	****	* * * * * * * * * *
列缺	肺経	疏風宣肺	太淵穴の上1寸5分、動脈拍動部のやや橈側を取る
風門	膀胱経		第2・第3胸椎棘突起間の外1寸5分を取る

2. 痰熱 <痰熱遏肺・熱哮>

[症状] 喉の痰音は鋸を挽いているかのように、息が非常に粗い。痰質は黄色で濃く非常に粘っていてなかなか吐き出せない。口渇があり冷たいものを好んで飲む。舌紅苔黄膩、脈滑数。

[処方例]

	経絡	意義	取穴部位
基本穴	***	****	* * * * * * * * * *
大椎	督脈	清化痰熱	第7頸椎・第1椎棘突起間
太白	脾経		足の第1中足指節関節の後、内側陥凹部に取る

《 緩解期 》

基本穴：

	経絡	意義	取穴部位
陰陵泉	脾経	補中健脾 利湿祛痰	脛骨内側顆の下、脛骨内側の骨際陥凹部。
豊隆	胃経		外果の上8寸、条口穴の外方に一筋へだてた陥凹部に取る。
足三里	胃経		膝を立て、外膝眼穴の下3寸に取る

3. 肺気虚

[症状] 呼吸が短く、声が低い、白色で質の薄い痰を吐く。顔色は白っぽく、平素から汗が多く、寒がりて風邪をひき易い。気候の変化が激しいと発作を起こし、発作前には嘔嚏を頻発し、質の薄い透明の鼻汁が見られる。舌淡、脈細弱。

[処方例]

	経絡	意義	取穴部位
基本穴	***	****	* * * * * * * * * *
肺俞	膀胱経	補気益肺平喘	第3・4胸椎棘突起間の外1寸5分にとる
太淵	肺経		手関節前面横紋の橈側端の陥凹部、動脈拍動部にとる
中府	肺経		雲門穴の下1寸

4. 脾気虚

[症 状] 平素から痰が多い、顔色は黄色っぽく精彩が無い、倦怠無力感、食欲不振、泥状便。飲食の不当により発作を起し易い。舌質淡、苔白膩、白滑、脈細軟。

[処方例]

	経 絡	意 義	取 穴 部 位
基本穴	***	****	* * * * * * * * * *
太 白	脾 経	健脾益気	足の第1中足指節関節の後、内側陥凹部に取る
脾 兪	膀胱経		第11・第12胸椎棘突起間の外1寸5分にとる
中 腕	任 脈		前正中線上、臍の上4寸

5. 腎気虚

[症 状] 平素から呼吸が短く息が切れる、活動後悪化し、吸息が特に困難。腰膝酸軟、めまい耳鳴り。疲れると発作を起し易い、寒がり手足が冷える、顔色は青白い。舌質淡、脈沈細。

[処方例]

	経 絡	意 義	取 穴 部 位
基本穴	***	****	* * * * * * * * * *
太 谿	腎 経	補腎益気	内果の最も尖ったところの高さで、内果とアキレス腱の間
腎 兪	膀胱経		第2・3腰椎棘突起間の外1寸5分
復 溜	腎 経		太谿穴の上2寸で、アキレス腱の前に取る。